

# 国際規格の動向-国際会議に出席して-

須賀茂雄  
喜多英雄

## ISO/TC42 (写真/画像の保存性) ポルトガル・リスボン国際会議

開催日:2019年5月14日~17日

場 所:Universidade Lusófona

参加国:ベルギー、アメリカ、スイス、オランダ、ポルトガル、

日本 6ヶ国 16名

当社に関係するWG5(5月14日)の審議について報告する。

### (1) ISO/PWI 18937-3 edition 3 (LED)

試験結果の取り扱い、寿命予測に関する記載、状態調節の期間、レポートなどの共通部分を Part1 通則に入れること、どんなLEDで試験したかを明確にするための規定方法、LEDで裏面照明される広告の場合、どちらに照射するか、評価の目的により、両面評価の必要性、外光が窓越しの太陽光の場合は、別規格で試験する、Annex Aの簡略化などが議論された。

### (2) ISO/DIS 18937 edition 2 (キセノンのみ)

indoor条件でも、window glass越しと、家の内部(L37フィルタ越し)が明確に区別できる表現に変える。2014年版には、短期変動幅と長期変動で説明する記載があったので、それを参考に修正することを提案。edition3で反映する。試験の評価についてレポートに含めるかどうか議論があった。これをもとに observationを完成させ、4週間の内部回送の後、FDISを作成する。

次回は、2019年11月にワシントンにて開催予定。

## ISO/TC35/SC9(ペイント及びワニス/一般試験方法)中国・上海国際会議

開催日:2019年5月20日~24日

場 所:China National Offshore Oil (Shanghai) Corporation Building

参加国:ドイツ、イギリス、アメリカ、スイス、オランダ、中国、韓

国、日本 8ヶ国 26名

当社に関係するSC9/WG31(5月22日)の審議について報告する。

### (1) ISO 2813 (20°, 60° 及び 85° における光沢度の測定)

Nico氏からCIEのグループと新規提案を作成中と説明があった。Convenerから、何も進展がないので、提案を取り下げるか、提案を出すかどちらか選択を迫られているが、CIEで進行中、早い段階で次の案を提案する。

### (2) ISOWD 16474-3 (試験室光源による暴露方法一第3部:紫外線蛍光灯)

Florian氏から改訂の内容が説明された。試験温度についての記述と制御しないことを選択を追加投票が開始される。Qlab中国から、UVA351ランプのグラフをより窓越しのCIE85に近づけるべきと提案があったが、必要な修正ではないとの結論になった。

次回は、2020年6月にアメリカ、ピッツバーグにて開催予定。

#### < ISO規格発行までの手順 >

|       |      |                                    |
|-------|------|------------------------------------|
| 予備段階  | PWI  | Preliminary Work Item (Project)    |
| 提案段階  | NP   | New Proposal for a work item       |
| 作成段階  | WD   | Working Draft                      |
| 委員会段階 | CD   | Committee Draft                    |
| 照会段階  | DIS  | Draft International Standard       |
| 承認段階  | FDIS | Final Draft International Standard |
| 発行段階  | IS   | International Standard             |

NWIP: New Work Item Proposal  
TR : Technical Report  
DTR : Draft Technical Report  
RRT : Round Robin Test  
SR : Systematic Review

\*校正部 部長

## ISO/TC156 (金属及び合金の腐食) 札幌国際会議

開催日:2019年6月10日～14日

場 所:北海道大学フロンティア応用科学研究棟

参加国:イギリス、アメリカ、スウェーデン、チェコ、中国、韓国、  
日本 7ヶ国 23名

当社に関係するWG7(6月11日)の審議について報告する。

### (1) ISO 9227 (塩水噴霧試験)

須賀が噴霧液採取位置についてプレゼンを行った。

各国の同意を得て、2019年末までに須賀が NWIP を WG7 Convenerに提出する。また、同様の塩水噴霧試験規格の IEC 60068-2-11と ASTM B117についても同じ提案をする予定。

### (2) NTT 提案の複合サイクル試験 (CCT-N 法)

三輪委員(NTT)が沿岸地域における亜鉛の防食性を評価する複合サイクル試験(CCT-N法)のISO提案に関するプレゼンを行った。2019年末までに追加データをまとめ、WG7 Convenerに提出することになった。

### (3) ISO 16539 B 法 (塩化物一定付着-絶対湿度一定でのサイクル試験) の TR 化

PLの藤田委員が進捗を報告した。DTRをISO事務局に提出することになった。

### (4) 湿潤試験の新規提案 (Similar to the ISO 6270-2)

Kreislova氏から湿潤試験について提案があった。8月にNWIPを作成、プレCDをWGメンバへ回送することになった。

### (5) ISO 16701 (間歇塩水スプレによる複合サイクル試験)

Johan氏よりISO 16701の試験がラボ間での結果のばらつきに対して、改善策の話があった。RRTを2019年秋頃に行いたい。来年にSR(定期見直し)の予定。

### (6) VDA 233-102 (ドイツ複合サイクル試験) に基づく新規提案

ISO/TC35/SC9/WG31で提案のあった、VDA 233-102に基づいたNWIPを、ISO/TC156へ移動させることについて

ISO/TC35/SC9/WG31に連絡を取って進めるとの話があった。

次回は、2020年6月にスウェーデン・ストックホルムにて開催予定。

### 須賀茂雄社長 ISO Excellence Award 2年連続受賞

本賞はISOの標準化事業のプロジェクトに大きな貢献をした人にISO中央本部より贈られる賞です。今回ISO/TC156WG7(腐食試験)においてISO 14993:2018(塩乾湿複合サイクル試験)の改正におけるプロジェクトリーダーとしての功績が認められ、2年連続の受賞となりました。



(写真中央 須賀社長)

## ASTM アメリカ・デンバー国際会議

開催日:2019年6月24日～26日

場 所:Sheraton Denver Downtown Hotel

参加国:アメリカ、日本 2ヶ国

### (1) D01.27 Accelerated Testing Subcommittee

ASTM D7356、D104、D1006、D7869のセキソニウム試験とASTM D4587の紫外線蛍光灯試験について審議された。

### (2) G03.94 Education

当社喜多が当社のサンシャインウェザーメーターについて、試験機の構造、相関性、促進性、再現性などの技術データを説明した。

この他、26日に耐候性試験のワークショップが行われた。

尚、11月7日からヒューストンで開催されるASTM G01で、ASTM B117(塩水噴霧試験)が審議される予定。

次回は、2020年2月にアメリカ・アトランタにて開催予定。